



研さん続けた調理技能

竹尾景利さんが厚生労働大臣表彰を受賞



大臣表彰を受賞した竹尾景利さん
(右から2人目)

中国料理店「笑福」の竹尾景利さん(光5町内)が11月16日、厚生労働大臣表彰を受賞しました。表彰に先立ち9月29日には、同大臣から中国料理専門調理師の認定を受けており、卓越した技能と長年の功績が称えられて今回の受賞となりました。

竹尾さんは「今回の受賞は、町内の他の料理人にも励みになるものと思います。支えてくださった皆さんへの感謝を忘れず、食を通して多くの人に喜んでもらえるよう今後も精進していきます」と話しました。

短歌会

ひと月も早く寒波に秋どりのキャベツの巻きは固くならざり
降る雨に満天星の紅萌えたちて日毎に冬の寒さ身にしむ
夕風の香に見返れば道の端に柵の花咲きてこぼれぬ
花すすき白波のごと川土手に風吹くたびにわれに寄せくる
門脇に佐助の白き花見えて枝もたわわに乱れ咲きをり
かさかさど落ち葉踏みしめ夫と行く秋境の宿に湯煙のたつ
全身に光を浴びて日に向きて岸に立ちたりダイサギ一羽

梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
古荘喜佐子
山口 静子
松本 東亜

菊陽句会報

きくよう文芸

あら炊きの目玉をしゃぶる師走かな 田島 三間
銀恋舞ふ夕日静かに沈みゆく 宮川ユキエ
寒かですねと見知らぬ人の行きずりに 紫藤 祥子
持久走の孫を待ちをり登り坂 曾我 育代
小春日の過去を巡らす立話 曾我トモ子
望郷の蔵の罫りの石路明り 村上 朋子
アンコールとまらぬ拍手秋夜長 米山るみ子
鮫鱈鍋家族と囲み誕生日 吉田 幸子
しろがねの山巖深く雪五岳 木村 信子
眼鏡拭く湯気のくもりに味噌おでん 緒方チエ子

古里の寺に初孫実千両 田中 郁子
黄落を集めて掃くや陸上部 財津 早雪
青き空黄落蝶のごとく舞ふ 原野レイ子
山茶花やわが憂き心ときほぐし 寺尾千代子
稜線の白きを眺め今年尽 高橋 孝子
白菜や葉のはちまき畑の朝 堀川 妙子
寒空にうすばんやりと昼の月 福田 貴子
崩さるる思ひ出の院北風荒れて 北川しんじ
朝まだき吐く息霜と同じいろ 田中 亜古
悴みぬ手際の悪しき衣繕ひ 佐藤 澄世

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

第33回菊陽町人権子ども集会

第33回菊陽町人権子ども集会が12月9日、菊陽中学校体育館で開催されました。この集会を実施するために8月から5回にわたり子どもたちは実行委員会を開き、準備を進めてきました。

この集会は①いじめ・差別を受けている人の立場に立って、それに対する意識を変える。②お互いの思いを素直に伝え合い、今後の行動につなげる。③自分と相手の個性を認め合い、いじめ・差別を許さないつながりをつくることを目的として、子どもたちが運営していく集会です。

今年は武蔵ヶ丘小・菊陽西小・武蔵ヶ丘北小・菊陽中がステージ発表、菊陽北小・菊陽中部小・菊陽南小・武蔵ヶ丘中・保育園が展示発表を行いました。菊陽中学校体育館には子ども約750人、教職員や保護者など約200人の参加がありました。

開会にあたり実行委員長長の篠崎昂聖さん(武蔵ヶ丘中学校3年)から「いじめや差別を許さないつながりを作っていこう。この集会をきっかけに自分にできることを行動に移し、身の周りの差別をなくしていこう」とあいさつがありました。



武蔵ヶ丘小学校は「バトンをつなごう～平和への想い～」と題し、社会科の授業、聞き取り、長崎修学旅行での八木道子さんの講話や中国残留日本人の井上鶴嗣さんとの出会いを通して、「平和の大切さ」を伝えました。



菊陽西小学校は、都合により実行委員会による代読発表となりました。語り部の方が話した「水俣病はまだ終わっていません」の意味を考えたことと差別に負けない生き方に学び、正しいことを知り、正しいことを伝えていきたいと発表しました。

武蔵ヶ丘北小学校は見学旅行や調べ学習を通してこれまでのミナマタと現在のミナマタについて学んだことを詩や劇にまとめ、「構成詩『ミナマタ』」として発表しました。



菊陽中学校は「夢を叶えるために～私たちの進路公開～」と題して実際にあった就職差別と、それをなくす取り組みを劇化し、差別によって夢をかなえることが妨げられてはならないと伝えました。



各学校の発表に対しては参加者から「しっかり知るためにこういう集会に参加していきたい」、「知らないうちに人を傷付けているかもしれない。自分の言動に気を付けていきたい」など時間が足りないほどの返しがありました。



集会の最後には①いじめや差別を自分のこととして考え、②自分から差別をなくす行動をし、③いじめや差別を許さないなかまをつくっていくことの三つを集会の宣言として参加者で確認しました。

参加した保護者からは、子どもたちが自分たちで集会を運営している姿、思いを込めて伝えたいことを表現している姿、受け止めて返し考え合っている姿に子どもたちの育ちを感じたとの感想がありました。